

# 【周南市】地域ぐるみの防災キャンプ

## 〈ねらい〉

学校、保護者、地域住民、関係機関が連携を図り、災害発生時における正しい知識を基に、災害から身を守る力を児童・生徒に身に付けさせるとともに、避難生活を想定したキャンプを体験させることを通して、地域に貢献できる心と実践力の育成を図ります。



## 実施内容

- 1 実施日時：平成29年8月26日（土）・27日（日）
- 2 実施場所：福川中学校体育館
- 3 参加者：福川小学校児童12人、福川南小学校児童5人、福川中学校生徒70人  
関係学校教職員14人、関係学校保護者45人、地域住民60人  
日本赤十字社3人、市防災危機管理課3人、市消防本部3人、市上下水道局4人  
市教育委員会1人、県教育委員会1人

## 4 プログラム

### 【1日目】8月26日（土）

	13:10	13:40	15:40	16:30	17:20	18:15	20:15	21:00	21:40	22:30
開 会 行 事		【学習Ⅰ】 [グループワーク] 日本赤十字社 ・講演 ・熟議	【学習Ⅱ】 [給水体験] 上下水道局 ・給水	【学習Ⅲ】 炊き出し 訓練 (夕食)	【学習Ⅳ】 [防災グッズ 製作] 木工作家 ・箸づくり	シャワー・着替 寝床づくり	【学習Ⅴ】 [講話] 県学校防災 アドバイザー ・災害の実態	【学習Ⅵ】 ランタン 探検	振り 返り	就 寝 準 備

### 【2日目】8月27日（日）

	6:00	6:30	7:30	9:00	9:30	11:00	11:20	12:00
健 康 観 察	ラ ジ オ 体 操	寝 床 の 片 づ け	朝 食	朝 礼	【学習Ⅶ】 [防災訓練] 市消防本部 ・心肺蘇生法 ・消火訓練	振 り 返 り	閉 会 行 事	引 き 渡 し 訓 練

## 5 活動の様子

### 1日目

《講話・グループワーク・熟議 講師：日本赤十字社 山口県支部》

「災害の経験から未来へ」と題して日本赤十字社の方から講話をいただきました。その後、グループワークでは、避難所生活に必要なものを袋に詰める体験を通して、避難所生活におけるルールや心構え等について学びました。



〔日本赤十字社の方の講話〕



〔避難する時、何が必要？〕



〔各グループから発表〕

### 《給水体験 講師：周南市上下水道局》

上下水道局の方の指導のもと、給水体験をしました。水がどれほど大切なのか、体に含まれている水分がどこまで減ると命が危険になるのか、生きていくためには、どのくらいの頻度でどのくらいの水を摂取する必要があるのかなど、詳しく学びました。また、給水車からの水を2Lのペットボトルにため、アルファ化米に水を注ぎ、非常食の食べ方についても体験しました。



〔上下水道局の方の講話〕



〔給水体験〕



〔水をアルファ化米へ〕

### 《炊き出し訓練》

給水車で届けられた水で作ったアルファ化米に、地域の方が作ってくださったカレーをかけ、カレーライスにして、食べました。たくさんの方に支えられていることを実感しました。



〔炊き出し訓練〕



〔みんなでおいしくいただきました〕



### 《防災グッズ製作 講師：木工作家、寝床づくり 講師：市防災アドバイザー》

地域の木工作家渡辺さんの指導のもと、箸づくりに挑戦しました。いろいろな種類の木材に触れるとともに、災害時、ないものは工夫して作り出せばよいことを学びました。

寝床についても、市防災アドバイザーの城さんの指導のもと、段ボールを用いたベッドや仕切りの作り方、プライベート空間の大切さを学び、実際に寝床をつくりました。



〔防災グッズ製作〕



〔寝床づくり体験〕



### 《講話 講師：県学校防災アドバイザー》

県学校防災アドバイザー幸坂氏に、実際に津波がどのように迫ってきたのか、どの辺りまで来たのかなどのお話いただきながら、自分の命は自分で守ることの大切さについて学びました。



〔自分の命は自分で守る！〕



〔津波について学びました〕



〔ランタン灯りの明かりのもとでの講話〕

## 2日目

### 《朝食》

朝は全員でラジオ体操を行い、朝食は、カンパンをいただきました。福川南小学校の教頭先生から、「ありがとう」の反対は「あたり前」、防災キャンプができることも日頃の生活もあたり前ではなく「有り難い」こととお話をいただき、感謝の思いを新たに、2日目をスタートしました。



〔ラジオ体操〕



〔初めてカンパンを食べました〕



### 《消火訓練・心肺蘇生講習 講師：周南市消防本部》

周南市消防本部の方の指導のもと、消火訓練をしたり救急蘇生法について体験したりしました。消火訓練ではバケツリレーや火元に水をかける訓練、救急蘇生法講習では、胸骨圧迫や人工呼吸の仕方、AEDの活用など、体験を通して有事の際の命を守る様々な方法を学びました。



〔バケツリレーによる消火活動〕



〔消火訓練〕



〔心肺蘇生講習〕

### 【児童・生徒の感想から】

- 赤十字社山口県支部の方の講話から、避難する時に何を持っていくべきか、避難した時の様子などを考えることができた。
- 体験してみて、熊本の人たちはこの車（給水車）でも足りないのだと知り、水を日頃から大切にしようと思いました。
- アルファ化米が便利だということが分かりました。カレーを作っていたいただいた方たちに感謝です。
- 段ボールが寝床になるとは思いもしなかったけれど、寝転がると案外心地よくてびっくりしました。
- 過去の震災の様子や体験談を交えた話はすごく説得力がありました。災害はいつ起こるかわからないので、その防災が重要だと改めてわかりました。
- はじめの頃は元気だったけれど、2日目からは疲れも出てきました。日頃では体験できないことも、今回の防災キャンプでいろいろ体験することができたので、よい経験になりました。夜は慣れない環境ですぐに眠れなかったので、2日目は眠くなってしまいうこともありました。今回はよい経験がたくさんできました。
- 日常では気づけないものの大切さがわかりました。食べ物をおなかいっぱいいただけることはとても幸せで、寝るところがあることも幸せであることがわかりました。また、災害はいつ起きるかわかりませんが、今回習ったことで対処できるようにしたいです。災害が起きないように、気をつけていきたいです。